

富士通エフ・アイ・ピー株式会社  
代表取締役社長 浜野 一典  
本社 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 2 4 ビル

## 情報セキュリティ格付け取得企業の声 <富士通エフ・アイ・ピー株式会社> 横浜データセンター、最高水準の「AAAs」を取得・維持

### 情報セキュリティに関する信頼感を醸成、安心・安全なLCMサービスを提供。

富士通エフ・アイ・ピーは「Challenge&Sustainability」を経営指針に掲げ、お客様のニーズに応じ、企業のライフサイクル全般をICTで支援するLCM（ライフサイクルマネジメント）サービスを提供しています。このサービスを支える全国のデータセンターのうち、最大規模を誇る「横浜データセンター」において、2011年に情報セキュリティ格付け「AAAs」を取得し、以降現在まで維持し続けています

格付けを取得する目的や効果などについて、小池修嗣取締役にお聞きしました。



### 強固なデータセンター機能を基盤として、お客様のライフサイクル全般をサポートします。

当社では、アウトソーシング、クラウド、ソリューションの3つのサービスを提供しており、それぞれのサービス分野で長年の経験・実績に裏付けられた高品質サービスを実現しています。さらに、システムの企画から設計、開発、運用、保守まで、お客様のICTライフサイクル全般を支援するLCMサービスをワンストップで提供しています。

たとえば、お客様が必要とするICTシステムをデータセンターでアウトソーシングサービスとして提供（クラウド、ハイブリッドでの提供も可能）し、システム上のアプリケーションの企画、設計、開発、運用、保守を行います。さらに、システムに関する問い合わせ対応をコールセンターで実施し、帳票や請求書などのプリンティングも専用センターで印刷・配送するなど、業務も含めたトータルサービスが実現できます。

このLCMサービスを提供するための基盤となるのが、全国に展開するデータセンターです。お客様の大切なシステムやデータをお預かりし、さまざまなサービスを展開しているデータセンターでは、情報セキュリティを含め強固な安全性が必須となります。

### 第三者評価で当社データセンターの高度なセキュリティを客観的に証明。

LCMサービスを支えるデータセンターは、情報セキュリティが生命線と考え、常に最新のセキュリティ情報に注意を払い、最新の設備、最新の運用を心掛けています。特に、設備面だけでは高度なセキュリティは維持できませんので、サービスに携わる“人”に着目し、モチベーションの維持・向上、スキルアップ、仕組み作りを組み合わせ、さらに創意工夫を重ねることで高度なセキュリティを構築しています。また、ISMS (ISO/IEC27001) の認証取得などでお客様に安心していただけるよう努力をしています。

しかしながら、ISMSでは一定のセキュリティ対策を実施していることは分かりますが、どのくらいのレベルのセキュリティなのか伝わらないことが課題でした。特に、クラウドサービスにおいては、運用がブラックボックス化され、お客様からサービスの仕組みが見えないことによる抵抗感があり、お客様に安心していただく材料をご提示することが必須です。

その点で、情報セキュリティ格付けでは、情報セキュリティに関するレベルが第三者によって客観的に評価・証明されますので、よりストレートに当社の安全性が伝わり、安心・安全をベースとした信頼感の醸成が期待できます。また、格付けの維持のため定期的に行われる審査は、現場確認を含めあらゆる角度から脆弱性の有無を確認されますので、審査の中で新たな気づきが得られ、次の対策の指針を考える一つの貴重な契機と捉えています。また、横浜データセンターのほか、中部データセンター、九州データセンターでもそれぞれ「AAAs」「AA's」の格付けを取得・維持しており、これらの効果を楽しんでいます。

当社では、第三者に認められた高度な安全性をベースに、お客様に信頼していただける安心・安全なLCMサービスを提供すべく、設備はもとより“人”に注力することで、さらに深耕、努力、推進していきたいと思えます。